

すずき けんご 殿
鈴木 健吾 殿
宇和島市出身

■事績

昨年2月28日に開催された「びわ湖毎日マラソン」で2時間4分56秒の日本新記録を打ち立て「4分台」の公認記録は、日本人だけでなく「非アフリカ系のランナー」を通じて初という快挙。東京五輪マラソン代表の大迫傑(ナイキ)が保持していた従来の日本記録を一気に33秒も更新した。パリ五輪代表の有力候補。

父親が長距離選手だった影響で小学6年の時から陸上を始める。宇和島東高校では3年時にインターハイ5000mで10位。全国高校駅伝、全国都道府県男子駅伝にも出場。神奈川大3年時の箱根駅伝2区を歴代8位の好走で区間賞を獲得して注目を集め、4年時にはユニバーシアードのハーフマラソンで銅メダルを獲得。2018年東京で初マラソンに挑み、学生歴代7位の2時間10分21秒をマークした。

富士通所属2年目で臨んだ2019年ハンブルクマラソンを2時間11分36秒でフィニッシュし、「対象2大会の平均が2時間11分00秒位内」となる条件をクリア。ワイルドカードで最後のMGCチケットを手に入れた。(MGCとはマラソングランドチャンピオンシップ。優勝すれば、東京オリンピック代表に内定2位、3位のうち「MGC設定記録」を突破した最上位者が代表に内定する。)

10月10日に開催されたシカゴマラソンに出場し4位入賞。

神奈川大の大後栄治監督は「合宿中は昼食時にも夕食時にも姿がない。どこにいたんだ、と思っていると走っている。長い時は2時間ほど走ることもあった」と振り返る。

神奈川大・大後監督、富士通・福嶋監督も「暑さに強い選手」と口を揃える。夏場に開催される世界大会にうってつけの選手だ。「とにかく才能より努力の人」と話している。